

評価項目		具体的方策・評価指標	自己評価結果			成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
農業教育	専門学習を通じて実践力のある人材を育成する。	実験・実習を通して、基礎基本の定着をはかるとともに責任感と協調性、創造力を養成する。専門科目の授業時間の50%以上を実験実習とする。						
	農場運営の合理化と施設・設備を充実する。	学習内容の精選と充実を図り、専門科目の学習体系を確立する。農業クラブ活動を中心とした実学教育に努める。資格取得については全受験者の60%以上の合格率						
		環境保全や持続可能な農業及び食の安全・安心の視点に立った農場づくりに努めるとともに、教材の充実を図る。GAP、HACCP関係の研修を年間1回以上実施する。						
		施設・設備を有効活用するための環境改善をすすめる。また車両・機械等の安全使用・保守に努める。						
家庭科教育	基礎・基本としての知識と技術を習得させる。	必要な専門の基礎的・基本的な知識や技術の内容を精選し、授業を構成する。また、実験・実習等の学習の充実を図る。						
	生活産業の社会的な意義や役割を理解させる。	生活産業を取り巻く諸課題を解決し、生活の質の向上と社会の発展に貢献するための教育内容を充実する。						
	創造的な能力と実践的な態度の育成に努める。	資格取得や作品発表会などを通して目標の達成を目指し、個々の学習成果の向上に努める。						
		家庭クラブ活動と学習を関連付け、その実践を通して学習内容の定着を図る。また、地域との連携を深め、活動の充実を図る。						
文化図書活動	校内外の文化活動や部活動を通して、各自のもつ能力・適性の伸長を図る。また、文化・芸術を尊重する態度を養い、情操豊かな人間を育てる。	多くの生徒が文化部活動に積極的に参加するように働きかける。						
	生徒にとって利用しやすい図書館運営を目指す。また、生徒に読書の習慣を定着させる。	生徒の傾向を踏まえて文化祭の持ち方や文化鑑賞会の催し内容の選定に熟慮する。						
	生徒にとって利用しやすい図書館運営を目指す。また、生徒に読書の習慣を定着させる。	生徒の興味・関心に応じた書籍の購入選定に力を入れる。						
		生徒の読書意欲の向上を目指した図書委員会活動を進める。						

令和2年度 学校評価計画表

奈良県立磯城野高等学校②

評価項目		具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
保健体育活動	体育的行事や運動部活動の活性化を図ることで、仲間と運動する楽しさを理解させ、生涯を通じて運動に親しむ姿勢を養う。	運動部員集会を学期毎に実施し、怪我や事故の防止等について理解させる。また、校外清掃活動に積極的に参加する。部活間の親睦を深めるため交流会を行う。				
		全体が楽しく安全に協力して取り組むことができるように、昨年度の反省をもとに、体育的行事における種目の変更やルールの変更等内容を工夫する。				
	自己や集団の健康管理に関心を深め、実践できる態度・知識を養う。	保健日より、食育新聞を学期に1回以上発行し、季節に応じた健康管理、食育推進を促すとともに、保健・体育委員会活動の活性化を図る。				
		健康診断の結果はその必要性を理解させ、スポーツテストの結果は、個人の健康・体力管理ができるよう、保健の授業の中で展開し、返却する。				
環境整備活動	通学路・学校周辺・校内の環境美化を推進する。	生徒会が主催する美化活動に環境整備委員会として参加する。また、環境整備委員会を中心に学校行事開催時における、周辺環境の整備・片付けを徹底する。				
		消掃用具・備品・消耗品等の点検を策定し、修繕や交換を積極的に進める				
	防火・防災の意識を高める。	年に1回以上、防火・防災訓練を実施する。また、地震対応等の内容を加味する。				
地域連携活動	家庭・地域社会・他校種・関係諸機関との連携に向けて、具体的な取組を行う。	学校ホームページに地域参加可能な行事や直売所(しきの彩)の即売状況等を掲載し、地域参加型の事業充実を図る。				
	地域社会の人的・物的な資源を積極的に教育活動の中で活用する。また、学校の教育資源を地域社会に提供する。	育友会員の研修会・総会・授業参観の参加数5%増と、その内容の充実を図る。また、育友会報誌を年2回発行する。				
		社会人講師やコミュニティーチャーター、大学講師などスペシャリストによる授業を実施する。 体育施設、農場広場等の施設を開放し、地域に開かれた学校づくりを推進する。また、学校の教育資源を地域社会に提供する。				